

授業科目名	社会的養護 I	担当教員名	入江 実
必修/選択	必修	開講学年・学期	3年 前期 (年間開講数 1講座)
科目区分	教職・保育に関する科目	単位数	2単位 (30時間)
施行規則に定める科目区分等	保育の本質・目的の理解に関する科目	授業方法/担当形態	講義 / 単独
		特記事項	※実務経験のある教員等による授業 児童養護施設主任児童指導員としての実務経験を活かして、具体的な実践記録を紹介して授業を行っている。
授業の概要及び全体目標	核家族化の進行が家庭での扶養能力を低下させ、子育てと介護が社会問題化してきた。この領域の支援策として社会的養護の充実がなされている。子育てには保育士、介護は介護福祉士という社会的養護の専門家の役割や課題を理解してもらう。また講義形式で教科書中心に、①現代社会における社会的養護の意義 ②社会的養護と児童家庭福祉 ③施設養護の実際 ④社会的養護の現状と課題を学習することとしている。		
到達目標	(1)現代社会における社会的養護の意義と歴史の変遷について理解する。 (2)子どもの人権擁護を踏まえた社会的養護の基本について理解する。 (3)社会的養護の制度や実施体系等について理解する。 (4)社会的養護の対象や形態、関係する専門職等について理解する。 (5)社会的養護の現状と課題について理解する。		
テキスト	「新・ファミラス/保育/福祉 社会的養護内容」谷口純世/山縣文治編著 (ミネルヴァ書房)		
参考書・参考資料等	指定せず		
成績評価の方法	○参加意欲：20% ○新聞記事によるレポート：25% ○定期試験：55%		
授業計画	授業の内容	到達目標番号	
第1回	講義の進め方		
第2回	I 社会的養護とは何か 第1章 今日の社会的養護 ①現代の社会的養護問題を理解する枠組み 1. 家族関係の中で生じる問題	(1)	
第3回	同章 2. 社会制度との関係の中で生じる問題 3. 援助感の問題	(3),(4)	
第4回	同章 ②社会的養護施策の動向と全体像	(1)	
第5回	同章 ③社会的養護の基本理念と原理	(1)	
第6回	第2章 社会的養護と子どもの権利 ①社会的養護に大切な子どもの権利	(2)	
第7回	同章 ②子どもの権利擁護の実際	(2)	
第8回	同章 ③子どもの権利擁護の難しさ	(2)	
第9回	II 社会的養護の実施体系 第3章 施設養護とは ①施設養護とはなにか①	(3)	
第10回	II 社会的養護の実施体系 第3章 施設養護とは ①施設養護とはなにか②	(3)	
第11回	同章 ②施設養護の特性	(3)	
第12回	第4章 家庭養護とは ①養子縁組制度	(3)	
第13回	同章 里親制度	(3)	
第14回	同章 ファミリーホーム	(3)	
第15回	全体のまとめ		
定期試験	筆記試験		